

環境や地域社会に配慮した新工場

～関東工場の取り組み～

2010年1月、群馬県館林市に即席めんの新工場として、関東工場を竣工しました。当工場では、安全・安心な製品作りはもちろん、持続可能な社会に向けて環境や地域社会にも配慮し、様々な取り組みを行っています。



効率的な最新の生産ラインと物流配送センターを併設した首都圏の基幹工場

東京ドーム2.7個分の広大な土地に作られた当工場では、当社国内工場で最大級の大型ラインを導入し、赤いきつねや緑のためき、カップワンタンなどを製造し、東日本を中心に供給しています。

東北自動車道で都心まで約1時間と、首都圏に隣接す

る好立地を活かし、二次物流機能を備えた配送センターを併設しました。コンピューター管理された自動倉庫や、異物混入に配慮した出荷バースなど最新の物流機能により、迅速かつ確実な出荷作業が行われています。

関東工場概要

所在地	〒374-0014 群馬県館林市赤生田本町3831-1
竣工	2010年1月
稼働開始	2010年1月
敷地面積	127,420m ² (38,612坪)
製造商品	赤いきつね・緑のためき・ワンタンなど



緑のためきの生産ライン



物流配送センター

安全・安心な製品づくり

異物混入防止への取り組み

●ドックシェルターの採用

ドックシェルターとは、トラックの荷台と入出荷口が隙間なくドッキングできる設備で、荷物の積み降ろしの際に雨や埃、虫などが入るのを防ぎます。

●搬入資材のエアシャワー

工場内に入る原材料資材は、全てエアシャワーを通して、付着異物を除去しています。



資材を回転させながら風を吹きつけ、異物を除去します

●最新検査機器による異物検査

製造ラインでは、金属検出機とX線検査機を通して、ひとつひとつの製品をチェックしています。



金属検出機



X線検査機

●従業員による異物持ち込み防止

従業員はエアシャワールームを通過した後、さらに粘着ローラーで作業着に付着している微細な埃を除去してから、生産ラインに入ります。

●虫の侵入防止

工場には窓がなく、虫が飛来するのを防いでいます。また、従業員などの出入口には、石けん水を張った溝を設け、歩行虫が侵入するのを防いでいます。

食物アレルギー対策

食物アレルギーの中でも重篤な症状を起しやすい、そばアレルギーをもつお客様のために、当工場ではそば専用ラインを設置しました。さらに、隣のラインにそば粉が飛び移らないよう、粉塵仕切り壁を設け、他の食材から完全に独立させることで、コンタミネーションを防止しています。



独立している「緑のたぬき」製麺工程

トレーサビリティシステムの導入

工場に運ばれてくる資材は、在庫日時・ロット番号などをコンピューターに記録して管理しています。製品にはナンバリングIDが印字され、同様に工場から出荷する際も、いつ、どこに、どの製品を出荷したか記録することで、製品の追跡調査を可能にしています。



製品ひとつひとつに印字されるナンバリングID

環境への取り組み

省エネの取り組み

●ボイラーに天然ガスを使用

工場の中でエネルギー使用量が多いボイラーの燃料として、従来の重油と比較してCO₂やその有害物質の排出量が少ない天然ガスを使用しています。



天然ガスボイラー

●自然エネルギーの利用

物流棟の屋根と正門ゲートの上に設置した太陽光パネルでは、年間に59,410kWhの電力を作ることができます。これは、平均的家庭が1年間使用する電気量の13戸分に相当し、約18.5tのCO₂削減効果があります。

また、外灯では、太陽光と風力を利用したLED照明を設置し、消費電力を抑えています。



物流棟屋根上の太陽光パネル



太陽光・風力で点灯するLED外灯

●LED照明や人感センサーの設置

蛍光灯に比べ消費電力が10分の1程度で済むLED照明を、見学者コースや事務所の一部に使用しています。

また、トイレには人感センサーを設置して、人がいるときだけ照明がつくようにすることで、消費電力の無駄を抑えています。

●屋上緑化

工場管理棟の屋上に芝生を植えています。建物内の温度上昇を防ぎ冷房を節約するだけでなく、CO₂を吸収する効果もあります。



屋上に植えられた芝生

●熱を吸収しない特殊塗料を屋根に使用

製造場や製品を保管する倉庫の屋根には、太陽光を反射する特殊な塗料を使っています。屋根の温度上昇を防ぐことで、建物内の温度をできるだけ低くし、夏の冷房にかかるエネルギーを抑えています。

●路面温度の上昇を抑える特殊アスファルトの採用

工場敷地内の舗装には、雨水を吸収し、気温が上昇するとその水分を蒸発させるアスファルトを使用することで、路面の温度上昇を抑えています。

資源の有効活用

●雨水の利用

工場の屋根から雨水をタンクにためて、トイレの洗浄用水として利用しています。雨が少なく、タンクに雨水がなくなった場合は、井戸水を利用しています。

●リサイクルブロックの使用

敷地内の歩道には、私達の生活から出るゴミを清掃工場で見焼した際に発生する焼却灰や汚泥などの各種廃棄物を主原料としたエコセメントブロックを使用しています。



エコセメントブロックを利用した歩道

●ダンボールやプラスチックのリサイクル

工場ではゴミを減らすため、使用済みのダンボールやプラスチックフィルムをリサイクルしています。搬出時には、容積を5分の1程度に圧縮して、輸送に必要なエネルギーを抑えています。

確実で効率のよい配送への取り組み

●倉庫内の自動化

当工場で製造された製品は、全て自動でパレット積みされ、自動倉庫に搬送されます。倉庫内においても自動ラックにて管理されます。



自動で倉庫に搬入され、保管される製品

●在庫管理の自動化

倉庫内の製品は、在庫数の管理や出荷時の倉出しも自動で行われます。安全・確実な在庫管理・出庫作業と、省エネ・省力化を実現しています。



コンピューターによる在庫管理

●積み込み作業の省力化

当工場で製造した製品の積み上げには、従来のプラスチックパレットではなく、厚さ7mmのシートパレットを使用しています。そのためパレットに積み上げた状態のままフォークリフトで荷台に積み込むことができます。プラスチックパレットから荷台に手で積み替えていた従来方法に比べ、所要時間が約1/6になりました。



シートパレットを使用したトラックへの積み込み

地域社会のために

地域社会との交流

「緑のためき」製造ラインの隣に、見学専用のコースを設け、学校や地元コミュニティなどの見学を受け入れています。身近な食品である即席めんが、何を原料にしてどのように作られているか、また、品質や安全性に配慮した物作りの現場の様々な工夫をご覧ください。



マルちゃんの歴史や商品についてわかりやすく解説した見学通路

工場環境整備

当工場の敷地内には、ビオトープがあります。木や草花を植え、池を作り、色々な生き物がバランスを保ちながら自分の力で生きていける場所を再現しています。工場と自然環境との調和を図り、今後、自然環境教育の場としても活用する予定です。また、工場の広い敷地を利用して、総合グラウンドを設置しています。従業員の福利厚生のためだけでなく、地域交流の場として、近隣住民の方々にも開放する予定です。



ビオトープ



野球場

VOICE

働きがいのある職場です

私は、スープ部門の包装場の仕事をしています。以前から東洋水産に興味があり、地元で求人がきていたのでチャンスだと思い、ここに決めました。関東工場は最新の設備で働きやすく、環境にも配慮していて、ここで働くことができ良かったと思っています。今後もよりよい製品、そしてお客様に安心して買っていただける商品をつくっていききたいと思います。



北沢 夕子
2009年度新入社員
関東工場